2023 年度 青山学院大学大学院 社会情報学研究科社会情報学専攻

博士前期課程(第2期)入学試験

コース共通

「英語」 問題冊子

受験番号:	氏名:
-------	-----

[注意事項]

- 1. 本問題冊子は表紙を含め全3頁、解答冊子は全2枚である。
- 2. 問題冊子及び解答用紙一枚ごとに、受験番号と氏名を必ず記入すること。
- 3. 解答冊子、問題冊子とも全て回収するので、綴じたままにしておくこと。

博士前期課程 コース共通「英語」問題用紙(2023年度第2期入学試験)

以下の問題 I を全文訳しなさい。また、問題 II は英語で答えなさい。その際、解答用紙の左上に記載された問題番号に注意して解答すること。

問題I 次の文章を読み、日本語に訳しなさい。

Automation*1 is not new. From the beginning, humans have constantly developed new and superior tools and technologies to produce greater economic output with less human effort. Some of these advances have been transformational*2, with broad impact across many sectors*3 of the economy. Think of inventions*4 like the steam engine*5, electricity, and information technologies.

Regardless of its scope, automation fundamentally exists to substitute work activities undertaken*6 by human labor with work done by machines, with the aim of increasing quality and quantity of output at a reduced unit cost. This ability to increase workers' productive capacity has historically enabled humans to transition out of physically difficult, mundane*7, or menial*8 labor, and in so doing, raised the standard of living.

Yet, while the benefits of automation to the economy are clear, the impact on workers is less certain. Historically, workplace substitution by machines has freed up*9 humans to focus on higher-value*10 tasks or to create new ones. The Agricultural and Industrial revolutions of the 18th and 19th centuries, for example, were periods of immense*11 workplace automation—but, the share of the population engaged in work actually rose as new demand engendered*12 new products, services, and work.

However, automation hasn't always carried positive news for workers. While there have historically been enough jobs to go around, the impact on wages has been more ambiguous*13. Similarly, workplace disruption*14 can carry substantial costs for those directly affected, since such workers may need to upgrade their skills or move into new roles*15.

語注

automation*1 自動化、 invention*4 発明、 mundane*7 日常的な、 higher-value*10 価値の高い、 ambiguous*13 曖昧な、 transformational*2変革的な、steam engine*5 蒸気機関、menial*8 単調な、immense*11 絶大な、disruption*14 混乱、

sector*3 分野、 undertaken*6 引き受ける、 freed up*9 解放する、 engender*12 生み出す、 role*15 役割

問題Ⅱ 次の質問に英語で答えなさい。

People spend a lot of time daily on social media using SNS apps. What do you think are the positive and negative effects of social media on users and society? Write your thoughts in at least ten sentences in English.

2023 年度 青山学院大学大学院 社会情報学研究科社会情報学専攻

博士前期課程(第2期)入学試験

社会情報学コース

「小論文」 問題冊子

受験番号:	氏名:
-------	-----

[注意事項]

- 1. 志願したコースの問題冊子であることを確認すること。
- 2. 本問題冊子は表紙を含め全2頁、解答冊子は全2枚である。
- 3. 問題冊子及び解答用紙一枚ごとに、受験番号と氏名を必ず記入すること。
- 4. 解答冊子、問題冊子とも全て回収するので、綴じたままにしておくこと。

博士前期課程 社会情報学コース 「小論文」問題用紙(2023年度第2期入学試験)

【問題】

政府は、この3年間の新型コロナ禍を経て、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを、季節性インフルエンザと同じ5類に移行することで、いよいよアフターコロナあるいはウィズコロナの社会に入ることを表明しました。またそれだけではなく、少子高齢化という長期的課題にも積極的に取り組むことを表明しました。

そこで、社会情報学部の特色を念頭に置きながら、この二つの課題を、あるいは少なくとも一つの課題をどのように各自の研究の中に取り込んでいくことができるのかについて、具体的に例を挙げながら述べなさい。 (1,000 字以内)

2023 年度

青山学院大学大学院 社会情報学研究科社会情報学専攻

博士前期課程(第2期)入学試験

ヒューマンイノベーションコース

「小論文」 問題冊子

受験番号:	氏名:
-------	-----

[注意事項]

- 1. 志願したコースの問題冊子であることを確認すること。
- 2. 本問題冊子は表紙を含め全2頁、解答冊子は全2枚である。
- 3. 問題冊子及び解答用紙一枚ごとに、受験番号と氏名を必ず記入すること。
- 4. 解答冊子、問題冊子とも全て回収するので、綴じたままにしておくこと。

博士前期課程 ヒューマンイノベーションコース 「小論文」問題用紙(2023年度第2期入学試験)

以下に示す1~2から1つを選び解答せよ。解答用紙の1行目には選択した問題の番号を記入すること。解答についてはそれぞれの問いの指示に従うものとする。

1

学習、身体、文化の関係について、日常的な実践場面の具体例を挙げて論じなさい。

2

学習を個人による知識の内面化と捉えて行われている教育実践の事例をあげよ。 そのうえで、学習をコミュニティや関係性の次元で捉える観点を採用すると、例としてあなたが挙げたような教育実践はどのように変わっていくと思われるか論ぜよ。